

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」【素案】に対する
子どもからの主な意見

施策（1）母子保健の充実

子ども	「あかちゃんがすくすくそだつようにする」というのはとても大切だと思います。子どもが増えて、「放課後児童クラブ」がもっと楽しくなることにつながるからです。
市の考え方	初めて赤ちゃんをお世話するときは、いろいろ分からないことがあります。北九州市では、お父さん・お母さんが、そういったことを勉強したり、お医者さんなどの専門家に相談できるようにしています。 お友達がたくさんいると、放課後児童クラブもにぎやかで楽しくなることでしょう。これからも、赤ちゃんがすくすく育つような北九州市を目指して努力していきます。

施策（3）乳児・幼児期の教育や保育の充実

子ども	お父さん、お母さんが病気になった時、赤ちゃんをあずけられれば、お母さんお父さんの看病をぼくができるから、保育所や幼稚園がいい場所になると思いました。
市	北九州市には、一時保育というお父さん、お母さんが病気等の時に赤ちゃんを保育所に預けることができる制度があります。 市内では82箇所でおこなっているので、お父さん、お母さんが病気の時は利用してください。

施策（4）放課後児童の健全育成

子ども	児童クラブをしめるのが今は6時30分だけど7時までにしてほしい。
市	クラブを実施している人たちの意見も聞きながら、午後7時まで開いているクラブが増えるよう、努力していきます。

施策（５）地域における子どもの居場所づくり

子	赤ちゃんでも遊べる場所がほしいです。
市	<p>北九州市は、赤ちゃんでも遊べる場所として、区役所などに「親子ふれあいルーム」というものを作っています。部屋の中で、安心して遊べる場所です。</p> <p>この「親子ふれあいルーム」以外にも、小倉駅近くの「元気のもり」や黒崎駅近くの「子どもの館」の中に、赤ちゃんが遊べるコーナーを作っています。こちらもお部屋の中なので、安心して遊べます。</p> <p>家の近くにある市民センターでも、「フリースペース」という赤ちゃんの遊び場を作っているところもたくさんあります。</p> <p>これからも赤ちゃんが安心して遊べる場所づくりに取り組んでいきます。</p>

子	<ul style="list-style-type: none"> ・ こうえんを小さい子からだれでも楽しい公園にしてほしい。 ・ 公園の遊具を増やしてほしい。
市	公園の整備につきましては市民の皆様の意見を取り入れながら計画的に行っています。

子	ゆうえんちがあったらいいな。
市	<p>スペースワールドは、北九州市の遊園地としてたくさんの人に楽しんでもらっていましたが、残念なことに閉園してしまいました。</p> <p>スペースワールドのあった場所には、大きなショッピングモールや新しい科学館ができる予定です。</p> <p>北九州市には、遊園地に代わる楽しいものが他にもあるので、いろいろ探してみてください。</p>

子	<p>いろいろな年れいの子と遊んだり、自然の中でのびのび遊べるようにするには、ちがう学年とペアになって、森の中に入り、木登りやアスレチックなどをつくったりすることがいいと思いました。</p>
市	<p>北九州市では、NPO 法人と協力して、森の中で木登りをしたり、ロープでブランコを作ったりする外遊びを定期的に（毎月決まった曜日に、とか、毎年〇月に、とか、そういう意味です）開催（かいさい）しています。</p> <p>今後もいろんな年齢の子どもたちと遊んだり、自然の中でのびのびと遊んだりすることができるような遊び場づくりを行っていきます。</p>

施策（６）こころの教育、体験・学習機会の充実

子	<p>新しいプラネタリウムをつくってくれることはいいと思います。</p> <p>（理由）ぼくも好きだし、みんなも好きと思うからいいと思います。</p>
市	<p>新しいプラネタリウムは、より自然に近い星空とまるでその場にいるように感じる映像を体験できるよう、とても大きなドームを作る予定にしているので、完成を楽しみにしててください。</p>

施策（７）青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援

子	<p>学校に楽しいしせつを作ったりすると休み時間が楽しくすごせる。</p> <p>学校に行きたくないと思ったら休んでもよい（ようにする）。</p>
市	<p>学校が楽しいと思える環境づくりを進めることは大切なことです。これからも進めていきます。</p> <p>また、学校に行きたくないと思ったら、すぐにお父さんやお母さん、学校のスクールカウンセラー、電話相談（24時間子ども相談ホットライン093-881-4152）など、自分がいちばん相談しやすい人に相談してみてください。</p>

施策（9）児童虐待への対応（北九州市子どもを虐待から守る条例の推進）

子	<p>私は、困っている人がいなくなることが大切だと思います。理由は、今、「ぎゃくたい」でなくなったこどもがいてかわいそうだなと思ったからです。だから「ぎゃくたい」などをなくすために、ポスターなどを書き様々な人にしらせたいと思います。</p>
市	<p>虐待（ぎゃくたい）をなくすためには、たくさんの人に虐待について知ってもらうことが大切です。</p> <p>北九州市では虐待防止のポスターやパンフレット、チラシを作って、市役所や区役所の壁などに掲示して、市民の皆さんに配布しています。</p> <p>これからも皆さんに色々な形でお知らせしていきます。</p>

施策（12）子育てを応援する体制づくり

子	<p>子育てのそうだんコーナーをつくってあげるとよい。</p>
市	<p>子育ての相談ができる場所としては、「子ども・家庭相談コーナー」があります。このコーナーはそれぞれの区役所の中にあります。</p> <p>子どものことや子育てのことなど、どんなことでも相談に乗っています。何か相談したいことがあれば、ここに来るようにしてもらっています。</p> <p>子育てをしている人たちが使うことのできるいろんな制度（せいど）を紹介して手続きしてもらったりしています。</p> <p>このコーナーでできないことがあれば、他の相談場所を紹介したりして、相談に来る人それぞれの内容に合わせたアドバイスをしています。</p> <p>これからも、この「子ども・家庭相談コーナー」を広く知ってもらえるよう、お知らせしていきます。</p>

施策（14）子育てと仕事との両立に向けた環境づくり

子	<p>気になったことは、お父さんとお母さんという時間をどう増やすかです。ぼくは、お父さんになったら、休みの日とかに、子どもと遊んだりしたいです。</p>
市	<p>お父さんお母さんが、お家でみなさんと楽しく過ごすことができるようにするためには、お父さんお母さんが、仕事の時間とみなさんとの時間の両方をバランスよく過ごせるようにすることが必要になってきます。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。</p> <p>北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、社長さんのような立場の人や、仕事をしているお父さんお母さんのような人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」という委員会をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>

施策（15）子どもの安全を守る環境整備

子	安全に歩ける道を細い道にも信号をつけたり、自転車が走るところと歩くところを別々にしていったら安全になると思います。
市	<p>「信号をつけること」「自転車が走るところと歩くところを別々にすること」などは、警察の仕事なので、市役所で勝手に変えることはできませんが、「通学路安全プログラム」という取り組みを行う中で、危ないところは、警察に伝えて変えてもらっています。</p> <p>これからも、安全な道路になるように取り組んでいきます。</p>

子	街灯を増やしてください。
市	街灯にはいろいろな種類があって、誰が付けることを決めるのか、誰がお金を払うのか、街灯の種類によって違います。街灯が消えていたり、付けて欲しいときは、まずは、家族の人をお願いして、住んでいる区の区役所（コミュニティ支援課）に連絡するようにしてください。

子	<p>災害があったときでも安心してすごせる場所をつくることは、とてもいいことだなあと思いました。</p> <p>（理由）災害があると、パニックになってしまうからです。</p>
市	<p>北九州市は土砂災害、洪水災害、津波災害などのハザードマップ（災害の種類・場所・危険度などを示した地図）を作っています。</p> <p>自分が住んでいたり、普段行くことの多い地域にどんな危険があるのかを調べることで、災害が迫ったときどこへ行けば安全なのか知ることができます。</p> <p>災害でパニックにならないよう、あらかじめどこへ逃げればいいのか確認しておくことが大切ですので、家族の方と一緒に調べて、確認しておいてください。</p>